

# 「術後感染予防のための抗菌薬投与量調査」について

## ○研究の目的

手術をうけるとき、手術部位の感染を減少させる目的で抗菌薬を予防投与します。具体的にはセファゾリンでは体重 80kg までは1回1g、80kg を超える場合は 1 回 2gの投与、追加投与3時間毎が推奨されていますが、実際には、体重、年齢、組織移行性などを考慮して決定します。そのため、本研究では、周術期投与抗菌薬の種類、投与量、ならびに、術後感染症の発生状況を調査し、臨床における周術期抗菌薬選択の実態を明らかにします。

## ○研究の方法

平成 26 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までに、広島大学病院で手術を施行された体重 80kg 以上および対照として体重 80kg 未満の患者を対象とします。

本研究は全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は①患者基本情報②血液検査データ③投薬歴④術後経過です。(個人が特定出来る情報は転記しません)

(研究期間 承認後～28 年 3 月 31 日)

## ○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

## 不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....  
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5572

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾裕彰(研究責任者)

薬剤師 高松花絵(担当者)